

令和元年度 第31回新居関跡整備委員会議事録

- 1 日 時 令和2年1月16日（木） 午後2時～午後4時35分
- 2 場 所 新居地域センター北中会議室
- 3 出席者 整備委員 渡辺委員 向坂委員 寺田委員
金原委員 箱崎委員
静岡県 文化財課
事務局 渡辺教育長
スポーツ・文化課長 岡本
藤井・鈴木
- 4 議 題 ①令和元年度関所整備進捗状況について（報告）
②女改之長屋の展示について
③令和2年度事業計画について
④今後の事業計画について
- 5 公開・非公開の別 公開
- 6 傍聴者 無

【開 会】

あいさつ

- ・ 渡辺委員長
- ・ 渡辺教育長

【議 題】

1 令和元年度関所整備進捗状況について（報告）

※事務局より進捗状況について説明

- ・ 女改之長屋復元整備工事について
- ・ 整備委員会の開催
- ・ 整備過程の活用
- ・ 関所構内の修繕

（委員）構内修繕について、現状と路盤が風雨によるものなのか、調査をして原因をつきとめ整備報告書に記録しておくことが他の史跡の貴重な資料となる。オリンピックの聖火リレーの静岡県の出発式となるので、関所のアピールにつなげてほしい。

（委員長）6/1見学の参加者数が多いが要因は？次の誘客に生かしてほ

しい。

(事務局) 工事途中がそのときしか見られないことや、土壁やこけら板の釘打ち体験ができることが大きかったのではないか。

また小中学生にこけら板に記名をしてもらった。

(委員) 当日は子どもよりも大人が多かった。潜在的に興味のある人が多いのではないか。

(委員) 土壁体験はこれからも可能であるかもしれない。

2 女改之長屋の展示について

【展示民具】

(委員長) 膳は脚付きでなく、箱膳であろう。和傘も使用したのではないか。おおむね良さそうであるが、随時更新していけばよい。

発掘遺物を見ると良い品を使っているようにみえる。

(事務局) 女改之長屋と面番所からでた遺物なので、関所の上級役人が使っていたかもしれない。

(委員) タンスは富裕層が使った。おくどがあった家は、かなり裕福な家で、庶民は七輪を使用したと聞いたことがある。

(委員長) 次々に置いて民具室にならないよう。

【解説 a】

(委員長) 「女改之長屋」という「之」は呼びにくいが、名称はこれで決まりか? 「女改長屋」の方がよいのでは。

(事務局) 女改人長屋など、記録では他の呼称もあるが、過去の整備委員会で、呼び方を決めた。「女改之長屋」で統一したい。

(委員) 正式なものは行政用語で、通称があってもよいかも。

(委員) キャプション解説では、「長屋」「女改之長屋」「女改人長屋」とあるので、歴史上記録にないものを通称とするのはよくない。ただ、「など」とあるので、「女改長屋」と言っている記録があるのか?

(事務局) 確認して決定する。

(委員) 長屋の解説で、そもそも「女改め」をする必要を記載したほうがよい。女改之長屋が新居関所だけの特徴であれば、それをもっと前面にだした文章に修正を。

【解説 b】

(委員) 新居近辺で出産した「もの」は「者」。「改め婆」と「改婆」の文字の統一。ルビも「ババア」と読んでいたが「ババ」か？

(委員) おはぐろ付き小女もいたと文献にあるので、キャプションの女の区分を検討を。

(委員) 女性の区分の「女」の説明を入れたほうがよい。

(委員長) 女の区分の名称にはすべてルビをふる。

【解説 c】

(委員) 姫街道という言葉は清川八郎が初見で、使っていたか？

(委員長) 旅日記をみていると、清川以前にある。

(事務局) 諸説あるので言われています、とぼやかしている。

【解説 d】

(委員) タイトルが疑問形であるが、すぐに回答があるので文章を変更。例文：「この建物にはトイレと調理器具がありません」

(委員長) 番頭は家老身分であるので、廁を一緒に使うことはない。面番所の廁を使ったのだろう。

(委員) おくどがあった家は、かなり裕福な家で、庶民は七輪を使用したと聞いたことがある。

【解説 e】

(委員) かつてを削る。建物の詳細規模も不要。

【全体】

(委員) 名詞や歴史用語にはすべてルビが必要。

一字下げなどのレイアウト配置にも注意。

(委員) 一度意見を集約して、絵図を入れたグラフィックデザインをした下案の段階で、委員にメール審議をしてもらうように。

【講座について】

(委員) 令和2年度の整備で木柵塗りなど工事を生かした市民参加のワークショップの検討をしたらどうか。

3 令和2年度事業計画について

- (委員) 電柱は地中化できないか？
- (事務局) 中部電力と検討を重ねたが、無理であった。
- (委員) 面番所南東の防犯センサーは、渡船場側にして写真や映画撮影に使えるよう差し支えのない場所にしたらどうか。
- (事務局) 松のあたりに近づけて目立たないようにする。
- (県) 工事期間に消防設備の空白期間に問題がないようにしてほしい、と文化庁から指導を受けている。
- (委員) 泉町自主防災会では300メートルくらい離れたところに可搬ポンプを所有しており、備えをしている。

4 今後の事業計画について

- (委員) サイン看板は調査官から指摘された必須事項でなければ、撮影などを考慮して恒久的なものは設置しない。遺構がないところに設置すること。建物がすでにある女改之長屋や面番所の看板は不要。将来的に設置する船会所や土蔵を土の色を変えて案内看板を設置したらどうか。
- (委員長) 四隅をロープで張って、表示看板をするだけなら予算がかからずすぐに可能。
- (事務局) 船会所や土蔵は将来的課題とし、まずは史跡保存活用計画を作成し、長期計画を立てたい。史跡保存活用計画に船会所や土蔵の整備目標年次や財政的裏づけを明記していきたい。
- (委員) 建築専門部員に女改之長屋の完成式典の案内と建築専門部会がしばらく休会になる連絡をしてほしい。

(会議終了後、新居関所の現地確認。)

【現地指導】

- (委員) 土間の電球が昭和レトロで復元物と混同しそう。
裏御門北の仮設ゲートは、木柵調にしたら景観にあう。
梁の手斧のかけ方が水平になっているが、古代のかけ方。
中世の城はななめ掛けであった。
梁のつなぎ目の金具を目立たないように補色ができないか。
戸をあけてすぐにスイッチであるので、左開けにしたらどうか。
- (事務局) 蔀板はどの部分か？
- (委員) 下見板のこと。おそらく発音が似ているため、仕様帳では蔀と表記したものと思われる。

(事務局) 敷居はどのように登るか？

(委員長) 下駄石があったのではないか。

(事務局) 根太はどの部分か？

(委員) 床板の下の太い柱のこと。根太が直接地面に面していることから板畳であることが推測された。

(VRを体験後、16：35解散)